

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	鎌倉消防署・大船消防署警備課担当課長 稲毛哲也・吉野友明	
鎌倉・大船消防署警防活動		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 鎌倉消防署・大船消防署警備課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	災害対応に関する装備及び資機材を充実させるとともに、各種訓練を実施し、消防・救急活動の強化を図り、消防任務の達成に資する。
効果	有事の際、円滑速やかな活動を行い、市民の生命、身体、財産を災害から守る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

年間を通じて、各種訓練、救急講習、消防訓練指導、地水利調査、立入検査等を実施した。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	0	0	0	当初予算(千円)	0		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	0	0	0	一般財源	0		
事業運営	人員配置数	193.0	192.0	192.0	人員配置数	192.0		
	人件費(千円)	1,561,370	1,549,937	1,549,937	人件費(千円)	1,627,719		
	総事業費(千円)	1,561,370	1,549,937	1,549,937	総事業費(千円)	1,627,719		
	市民1人当りの経費(円)	8,809	8,763	8,763	市民1人当りの経費(円)	9,224		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	各種訓練については、課題等を協議し効率的に実施する。予算規模については、あらゆる工夫を行い、予算内で対応していく。今後も市民に安全、安心を提供し豊かな暮らしに寄与していく。
----------	---	--------------------	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防業務全般の継承が急務であり、特に現場活動等において経験が必要であることから、継続的に各種訓練等を実施し、職員の経験不足を補い、万全な態勢で災害現場での活動を実施する。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	職員の年齢層が急激に若返り、事務における知識不足、現場での経験不足の解消に努める。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	当直中に実戦的防ぎょ訓練、走行訓練、図上訓練など各種訓練を定期的に取り組み、知識及び経験不足の解消に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	一般的な事務処理等もあり、訓練時間の確保に苦慮している。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	若手消防職員の経験不足解消に伴う訓練等の実施						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	鎌倉、大船両署 年間訓練計画に基づき実施。なお、今後も継続して取組			
多数の団塊世代職員の退職により、年齢層が若返り、消防業務全般の継承が急務であるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0						
	実績値	60.0	65.0	100.0							
	達成率	60.0%	65.0%	100.0%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	消防業務全般における事務処理及び現場活動時に必要な技術の継承を継続的に実施し、消防力の維持強化を目標とする。										